

## 第 3 期秋田県スポーツ推進計画 骨子案

### 1 ライフステージに応じた多様なスポーツ活動の推進

#### <政策目標>

ライフステージに応じたスポーツ活動を推進し、成人のスポーツ実施率を週 1 回以上が65%程度、週 3 回以上が30%程度となることを目指します。

#### (1) スポーツ参画人口の拡大とスポーツを通じた健康増進

県民が生涯にわたり心身ともに健康で文化的な生活を営む基盤となるよう、誰もが日常的にスポーツに親しむ機会を充実させ、スポーツ参画人口の拡大を図るとともに、「健康寿命日本一」を目指し、「ねんりんピック秋田2017」の成果等を生かしながら、スポーツを通じた健康増進を図ります。

#### <具体的施策>

- ・ 青・壮年期の日常的なスポーツ習慣の確立
- ・ 中・高齢者のスポーツを通じた生きがいつくり
- ・ ねんりんピック秋田2017の成果や、2020年東京オリンピック・パラリンピック（以下、「東京オリ・パラ」という。）の開催を契機とした県民のスポーツ参画の促進
- ・ 障害者が健常者と同様にスポーツに親しめる環境の整備

#### (2) スポーツを支える組織の充実と関係団体等との連携

スポーツ大会・イベントの運営サポートを担う団体や組織等との連携強化による組織活動の充実を図るとともに、総合型地域スポーツクラブ（以下、「総合型クラブ」という。）や企業、大学等との連携による地域のニーズに応じたスポーツライフの創出や、地域コミュニティの維持・再生を図ります。

#### <具体的施策>

- ・ 総合型クラブや企業等と連携したスポーツ活動を通じた地域づくりの促進
- ・ 県スポーツ推進委員協議会との連携強化
- ・ 県体協や県障害者スポーツ協会、競技団体等との連携強化
- ・ ボランティア団体の育成とネットワークづくり
- ・ 大学等との連携による、住民主体のスポーツ活動の先進事例の調査・分析

## 2 子どものスポーツ機会の充実による運動習慣の確立と体力の向上

### <政策目標>

生涯にわたって豊かなスポーツライフを実現する資質・能力を育てるために、学校体育や放課後の地域における子どものスポーツ機会の拡充を図り、子どもの体力水準（体力・運動能力調査結果）が昭和60年頃の水準を上回ることを目指します。

### (1) 幼児期からの子どもの運動習慣づくりの推進

子どもが生活や遊びを通してスポーツに親しむ習慣づくりを推進します。

### <具体的施策>

- ・「幼児期運動指針」や「ACP」※の普及による運動習慣づくりの推進
- ・県内トップチームの選手による幼稚園等への訪問
- ・総合型クラブ等での親子スポーツ教室の開催

### (2) 学校体育の充実による運動習慣の確立と体力の向上

教員の指導力の向上、地域人材の活用による体育・保健体育学習の充実や運動部活動の活性化を図るなど、運動好きな児童生徒を育てるとともに、学校教育全体を通じて運動習慣の確立と体力の向上を目指します。

### <具体的施策>

- ・体育・保健体育学習の充実
- ・運動部活動の活性化
- ・教科外体育の充実
- ・「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」結果の活用

### (3) 子どもを取り巻くスポーツ環境の充実

子どもがいつでも・どこでもスポーツに取り組むことができるよう、総合型クラブ等の地域スポーツ環境の充実を図り、子どものスポーツ機会を拡充します。

### <具体的施策>

- ・総合型クラブや部活動等との連携推進
- ・地域人材を活用した部活動指導員等の指導体制の充実
- ・放課後における子どものスポーツ機会の充実

※「ACP（アクティブ・チャイルド・プログラム）」とは、平成22年度に文部科学省が日本体育協会に委託し作成した、子どもが発達段階に応じて身につけておくことが望ましい動きや身体を操作する能力を獲得し、高めるための運動プログラム。

### 3 全国や世界のひのき舞台で活躍できる選手の発掘と育成・強化

#### <政策目標>

国際競技大会等において優れた成績を挙げるなど、県民に夢や希望を与えるアスリートを発掘・育成し、東京オリ・パラに10名以上の本県関係選手を輩出するとともに、国民体育大会における天皇杯順位10位台（天皇杯得点1,000点以上）の成績を目指します。

#### (1) 競技力の向上と次世代アスリートの発掘・育成

国際競技大会等で優れた成績を挙げられる選手を発掘・育成するため、特にジュニア層の強化を競技力向上の柱として、各競技団体や関係機関、地域との連携を図りながら一貫指導体制を確立します。

#### <具体的施策>

- ・ 競技力向上連絡協議会の開催と県体協と連携した選手強化学業の推進
- ・ 将来有望なアスリートを発見し、育成するためのタレント発掘事業の推進と、一貫指導を行うための体制の強化
- ・ 全国や世界で活躍するアスリートやチームへの支援
- ・ アスリートの就職支援体制の充実

#### (2) 競技力向上を支える人材の育成と環境整備

優れた指導者を確保・育成するほか、審判員を養成するとともに、最新のスポーツ医・科学、データ等を活用した選手の強化支援体制を充実させます。

#### <具体的施策>

- ・ 国が策定したカリキュラムの普及・活用による指導者の育成と、審判員養成のための研修会等への支援
- ・ 秋田県スポーツ科学センターの機能強化による、スポーツ医・科学や様々なデータを活用したトップアスリートへの多面的で高度な支援
- ・ パラスポーツ選手等へ対応した競技環境の整備と指導者の育成

#### (3) クリーンでフェアなスポーツの推進によるスポーツの価値の向上

本県スポーツ界の誠実性・健全性・高潔性を高め、クリーンでフェアなスポーツを推進することにより、スポーツの価値の一層の向上を目指します。

#### <具体的施策>

- ・ アスリートの倫理観や規範意識を含めた人間的成長を促すことのできる指導の推進
- ・ スポーツ関係者のコンプライアンス違反や体罰、暴力の根絶に向けた研修等の充実と競技団体のガバナンス強化
- ・ 関係機関と連携したドーピング防止活動の推進

## 4 東京オリ・パラ等を契機とした、スポーツによる地域活性化と交流人口の拡大

### <政策目標>

東京オリ・パラ等の国際大会の開催を契機とし、スポーツを通じた交流の拡大を図るとともに関係団体等との連携を強化することにより、人々の一体感の醸成と活力ある地域社会の実現を目指します。

### (1) スポーツを活用した地域づくりの推進と交流人口の拡大

活力ある地域づくりの促進とスポーツによる交流人口の拡大を図るため、東京オリ・パラに向けた事前合宿や東京オリ・パラを契機としたスポーツ大会等の誘致のほか、スポーツツーリズムの推進を図ります。

#### <具体的施策>

- ・東京オリ・パラに向けた海外からの事前合宿誘致と、ホストタウンを基盤とした継続的な交流の促進
- ・大規模スポーツ大会等の誘致・開催
- ・地域資源を活用したスポーツ大会等の企画・開催への支援

### (2) トップスポーツチームと地域との連携・協働の推進

トップスポーツチームへの支援を通じた、応援機運の高まりによる地域一体感の醸成や、本県の情報発信を行うとともに、トップスポーツチームの地域活動によるスポーツ参画人口のすそ野の拡大を図ります。

#### <具体的施策>

- ・ユニフォームや試合会場への秋田のロゴマークの掲出等による全国への情報発信
- ・試合会場におけるイベント等の実施による地域の一体感の醸成
- ・スポーツ教室の開催や学校訪問など、チームの地域活動の促進によるスポーツ参画人口のすそ野の拡大

## 5 地域のスポーツ活動の基盤となる人材の育成と環境の充実

### <政策目標>

総合型クラブマネージャーやスポーツ推進委員等のスポーツ施策を推進するマネジメント人材の資質向上を図るとともに、県民に親しまれるスポーツ施設等の環境整備を目指します。

### (1) 総合型クラブの育成支援と、地域スポーツ指導者及びスポーツマネジメント人材の充実

総合型クラブと関係機関等との連携を図るとともに、総合型クラブに係る制度を整備し、質的充実を図ります。また、スポーツ推進委員等の地域スポーツ指導者やスポーツマネジメント人材の研修機会を充実させ、更なる資質の向上を図ります。

#### <具体的施策>

- ・総合型クラブが持続的に地域スポーツの担い手となるための質的充実を目指した支援
- ・総合型クラブ間のネットワークづくりや自立的な運営に向けた支援を行う中間支援組織の整備
- ・スポーツ推進委員等のスポーツマネジメント人材の研修機会の充実と、資格認定制度の整備等による資質向上
- ・障害者スポーツ指導者等の育成と講習会の充実

### (2) スポーツ施設の充実とスポーツに親しむ環境の整備

スポーツ施設の有効活用を図るとともに、計画的な整備・改修や環境整備を行うことにより、スポーツ環境と機会の充実を推進します。

#### <具体的施策>

- ・既存施設の計画的な整備・改修
- ・スタジアム・アリーナ整備のあり方の検討
- ・障害者など配慮が必要な人も利用しやすいスポーツ施設の環境整備
- ・民間資金等を活用した管理運営や収益力向上による、持続的なスポーツ環境の確保